

戦国はし拳バトル (こども祭り)

武田勝頼土佐の会

日時：平成24年10月13日 場所：吾川郡仁淀川町大崎

<団体戦：川中島合戦、武田軍*上杉軍>

* 川中島合戦：武田軍*上杉軍に別れて「はし拳」でバトルを行い、制限時間内に殿様を負かすまで行う。

参加者条件：段ボール等で簡単な鎧などを身につけて「武器は赤ばし3本」を持参（貸し出しもあり）して原則親・子供等で参加すること。

{ルール}

- 1, 戦場の兵隊（以下「武将」という）は、武田軍*上杉軍に別れて「はし拳3本勝負」で、2勝した者が勝者となる。（基本ルール）
戦場で3人の兵隊に勝った武将は侍大将に挑戦する事が出来る。
敗者は戦場内では何回でも相手を捜して挑戦する事が出来る。
- 2, 本陣前に立つ侍大将に挑戦する武将は、立て続けに3連勝しなければ勝ちとならない、3本勝負の内一敗で負けとなり場外に出る。（特別ルール）
侍大将は負けた時点で場外に出る。
3人の侍大将全員を討ち取ったら、武将若しくは侍大将は、次にお殿様に「特別ルール」で挑戦する事が出来る。
侍大将同士の勝負は「基本ルール」一回で行う。（敗者は場外に出る）
- 3, 本陣のお殿様に挑戦する武将・侍大将は、立て続けに3連勝して打ち取りとなりゲームは終了、先にお殿様を討ち取った方が勝者となる。
挑戦者は3本勝負の内一敗で討ち死にとなり場外に出る。（特別ルール）
お殿様同士の勝負は「基本ルール」で行う。（終了となる）
- 4, 制限時間はイベントに合わすが15分を基本とする。
制限時間までに勝負が着かない場合は引き分けとする。

* はし拳の撃ち方は、以下に示します。

はし拳の撃ち方

はし拳の基本動作は、3本の「赤はし」を武器として右手に持ち、上手（受けて）と、下手（撃ち込み）双方が対峙して「はし」の数（1本、3本、5本）合わせを競うゲームです。（赤はしは0本～3本を使う事が出来る）
ゲームは喧嘩ごしに啖呵を切るがごとく、威勢良く大きな声を出して勝負する。

- ・ 先に上手が「赤はし」を右手に隠して「さあーいらっしゃい」と、下手（撃ち込み）に向けて差し出す。（手の中は見せない様にする）
- ・ 次に下手が「赤はし」を右手に隠して「それでええかよ」と、言って3本（さんぼん）と撃ち込む。（さんぼん以外は言えない）
- ・ 上手は双方の赤はしの数を合わせた数字を想定して、1本「いっぽんよ」、又は5本「ごほんよ」と言って双方が手の中の「はし」を見せ合う。
- ・ 数が合った方が勝ち。数が合わなければ再度勝負を行う、この場合上手下手が交代で行う場合が多い。
- ・ この勝負を3回行い、先に2勝した方が勝ちとなる。

はし拳は、勝負の時の掛け声が「土佐弁」の荒い言葉が特色で面白い。
個人によって色んな掛け声があり、勝負を面白くしている！

*以下に標準な掛けことばを示す。

上手（受けて）	下手（撃ち込み）
勝負するかよ！	あー、勝負 勝負
先にくるかよ！	へぼから申す（へたくそから）
そうかよ、それなら此へいらっしゃい。 （先にはしを差し出す）	其れへ、さんぼんよ！ （合わせて、3本に成るように出す）
いっぽんよ（又は、ごほんよ） （大人の酒場での勝負は負けた方が	双方が見せあい、勝負を決する。 注がれた杯を一気に飲み干す。）

（注 意）

はし拳は土佐の宴会ゲームで、酒場を盛りあげる余興です。
地域によっては多少ルールが違う場合がありますので、其処の場所のルールに合わすのが礼儀。